CISPR14-1第7版が発行されました

2020年9月に、CISPR14-1第7版が発行されましたので、改正の内容についてご紹介します。

CISPR14-1は2016年8月に第6版が発行され、それ以降約4年間にわたって改正のための審議が続けられおり、本来は第6版修正１として審議されていましたが、改正のボリュームが非常に大きかったために、第7版として発行されることになりました。以下、主な改正点をご紹介します。

◆IPT機器の導入

電磁誘導技術を用いたワイヤレス給電機器が適用範囲に追加されました。ワイヤレス充電の歯ブラシやシェーバー、IH調理器などが該当します。

◆GHz帯までの周波数拡大

6GHzまでの放射妨害波測定の拡大です。

◆無線機能を持った機器の取り扱い

Wi-Fiなどの無線通信機能を持つ家電製品も適用範囲に含まれることを明記し、無線通信のような意図的放射とそのスプリアスは規格適用外であることを定義しました。

◆クリック測定手順の見直し

複雑なクリック測定手順を見直し、今までよりも理解しやすいフローチャートに変わりました。また、より短時間で測定を完了できる方法も追加されています。

◆統計的評価手法の取り扱いの変更

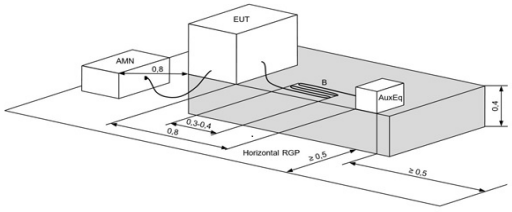
統計的評価手法は適否判定には用いないことを明確にするため、情報的附則に移動しました。

◆定義の追加・見直し

最近のCISPR規格全般で用いられる用語に揃えるため、「ancillary equipment」「associated equipment」「auxiliary equipment」「system under test」などの用語が新たに定義されました。

◆伝導妨害波測定セットアップ図の追加

文章の説明だけだと分かりにくいため、セットアップ図を追加しました。



上記以外にも、非常に多くの規定が追加・変更されています。特にワイヤレス給電機器・無線機能を持った機器の追加が新しい時代への移り変わりを感じさせます。

変更が多すぎて分からない解釈などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
（一財）電気安全環境研究所
EMC試験センター
E-mail： jet-emc@jet.or.jp

安全だね・安心だね

一般財団法人電気安全環境研究所
JAPAN ELECTRICAL SAFETY & ENVIRONMENT TECHNOLOGY LABORATORIES